貫入結果表示ソフト

Gグラフ

Ver 2.4.0.0

取扱説明書

2011年 5月

日東精工株式会社

制御システム事業部

貫入結果表示ソフト Gグラフ 取扱説明書 目次

1. はじめに	1
2. 使用環境	1
3. インストール	1
3-1 Windows7	1
3–2 Windows XP	2
4. アンインストール	3
4-1 Windows7	3
4–2 Windows XP	3
5. Gグラフの起動	4
5-1 Windows7	4
5–2 Windows XP	4
6. Gグラフの終了	4
7. GeoKarteとの通信	5
7-1 通信を始める前に	5
7-2 通信手順	5
7-3 通信時のエラー	6
8. データの表示	7
8-1 データファイルの読み込み	7
8-2 グラフの表示	8
8-3 土質データの変更	8
8-4 データを25cm毎に丸める	9
8-5 クリップボードへのコピー	9
9. 印 刷	10
9-1 データの印刷	10
9-2 プリンタの設定	10
10. データの保存	. 11
11. 設 定	12
11-1 グラフ表示の設定	12
11-2 データ加工の設定	13
11-3 通信ポートの設定	13
11-4 一時ファイルのフォルダ指定	14
11-5 1ページ印刷行数の設定	.14
12. 簡易データ入力	15
12-1 データの新規作成	15
12-2 基本的な操作	.16
12-3 各データの入力方法	17
13. その他	18
13-1 換算N値について	.18
13-2 25cmのまるめかたについて	.18
14. Q & A	.19
14-1 通常の操作におけるトラブル	10
	.13

1. はじめに

貫入試験結果表示ソフト Gグラフ は、自動貫入試験機 GeoKarte の制御装置に記憶された試験 内容を読み込んで、表やグラフの表示および印刷を行うものです。基礎選定などにおける本ソフトの出 カ結果の利用については、試験者の責任のもとに行っていただくとともに、本ソフトの出力結果を用い た場合の施工およびその建築物において、万が一問題が発生したとしても、当社はその責任を負いか ねますので、この点あらかじめご了解の上、ご使用下さい。

Gグラフは、次の機能を備えています。

・GeoKarteからのデータを複数個同時にファイルにすることができます。

- ・表とグラフを同時に表示することができます
- ・グラフは粘土層、砂層を色で(印刷時にハッチングパターン、色)区別できます。
- ・画面上で容易に粘土層・砂層の設定ができます。
- ・25cm毎にデータを丸めて表示、印刷およびファイル出力ができます。

・簡易データ入力機能により手作業での入力データをグラフ化することができます。

2. 使用環境

使用機種	:	シリアル通信ポート(RS232C)を持つもの
使用OS	:	Windows XP, Windows Vista, Windows 7
ディスプレイ	:	800×600ドット(256色)以上推奨

3. インストール

3 – 1 Windows7

(1)GグラフセットアップCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。。自動的にインストールプログラムが実行されます。自動実行されない場合はCD-ROM内のSETUP.EXEを実行してください。
 ※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]または[許可]をクリックしてください。
 (2)セットアッププログラムが起動すると「G グラフセットアップウィザードの開始」画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックして下さい。

(3)「使用許諾契約書の同意」画面が表示されます。ライセンスおよびソフトに関する注意事項を承諾いた だいた時点で、[同意する]を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



セットアップウィザードの開始

使用許諾契約書の同意

インストール先の指定

(4)「インストール先の指定」画面が表示されます。インストール先ディレクトリを設定します。変更する必要が無ければ、「次へ」ボタンをクリックしてください。

(5)「インストール準備完了」画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。 (6)「Gグラフセットアップウィザードの完了」画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



インストール準備完了

セットアップウィザードの完了

3-2 Windows XP

G グラフのインストールは、<u>コンピュータの管理者アカウントのユーザー</u>が行ってください。 制限付きアカウントのユーザー、ゲストアカウントのユーザーではインストールできません。

(1)GグラフセットアップCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。自動的にインストールプログラム が実行されます。自動実行されない場合はCD-ROM内の SETUP.EXE を実行してください。 (2)セットアッププログラムが起動すると「G グラフセットアップウィザードの開始」画面が表示されます。[次

(2)セットアッププログラムが起動すると「G グラブセットアップリイサートの開始」画面が表示されます。「次 へ]ボタンをクリックして下さい。

(3)「使用許諾契約書の同意」画面が表示されます。ライセンスおよびソフトに関する注意事項を承諾いただいた時点で、[同意する]を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。

(4)「インストール先の指定」画面が表示されます。インストール先ディレクトリを設定します。変更する必要 が無ければ、[次へ]ボタンをクリックしてください。



(5)「インストール準備完了」画面が表示されます。[インストール]ボタンをクリックしてください。 (6)「Gグラフセットアップウィザードの完了」画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



インストール準備完了

セットアップウィザードの完了

4. アンインストール

<注意>

Gグラフを削除するためにファイルをごみ箱に捨てないで下さい。

必ず、プログラム機能または(プログラムの追加と削除を使用して削除して下さい。

4-1 Windows7

(1)[スタート]ボタン、[コントロール パネル][プログラム]、[プログラムの機能]の順にクリックします。一覧 から「Gグラフ 2.4.0.0」を選択し、[アンインストール]をクリックします。





(3)アンインストール終了画面が表示されますので、[OK]をクリックします。

43971	PD4DAD=%	811
0	Gグラフ はご使用のコンピュータ	から正常に射聴されました。
-		
		OK

4-2 Windows XP

(1) [スタート]ボタン、[コントロール パネル]の順にクリックします。

(2)コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックし、[プログラムの追加と削除] 画面を表示します。

(3) [現在インストールされているプログラム]の一覧から、「Gグラフ 2.4.0.0」を選択し、[削除]ボタンをクリックします。



(4)アンインストールの確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



5. Gグラフの起動

5-1 Windows7

Windows 7

Gグラフの実行は、コンピュータの管理者として実行する必要があります。

(1)[スタートボタン]、[全てのプログラム]をクリックします。

(2)ggraphを右クリックして表示されるメニューより、[プロパティ]をクリックします。《図 5-1》

(3)ggraph のプロパティ画面が表示されます。[互換性]タブにある、[管理者としてこのプログラムを実行する]にチェックを付けて、[OK]をクリックします。《図 5・2》

(4)以上で、Gグラフを管理者として実行する設定は終了です。

(5)設定終了後、G グラウを実行する際に、[ユーザーアカウントの制御]画面が表示されます。《図 5-3》この画面では、[はい(Y)]を選択してください。G グラフが実行されます。



🗵 5-1

¥ 5-2

⊠ 5-3

5-2 Windows XP

G グラフの実行は、コンピュータの管理者アカウントのユーザーが行ってください。

[スタート]ボタン[すべてのプログラム][Gグラフ]をクリックするか、デスクトップ上のGグラフアイコンをダブル クリックしてください。Gグラフが起動します。

6. Gグラフの終了

「ファイル」-「終了」を選択するか、右上の「×」ボタンをクリックするとGグラフは終了します。





- 7. GeoKarteとの通信
- 7-1 通信を始める前に

パソコンとGeoKarteコントローラをRS-232Cケーブルで接続して下さい。

通信ケーブルはクロス結線のものをご使用下さい。 お客様がご使用のパソコン種類によって使用するケーブルが異なります。詳しくはGeoKarteの取り 扱い説明書をお読み下さい。

GeoKarte側は以下の手順で通信モードにして下さい。

- 1. 切り替えスイッチを「自動」にして電源を入れて下さい。
- 2. 中止スイッチを押して下さい。
- 3. ↑↓キーを使用して「データ転送モード」を選択後、「SET」キーを押して下さい。
- 7-2 通信手順
 - 1.「通信」ボタンを押して下さい。
 - 2. 「試験データ読み込み」ダイアログボックスの「試験リスト受信」ボタンを押して下さい。「データリスト」 リストボックスにGeoKarte内のデータの一覧が表示されます。



- 3. 各ボタン「>」、「≫」、「<」、「≪」を使用して、「ファイルに落とすデータ」リストボックスに読み込み たいデータを移動させて下さい。(各ボタンの働きは下の説明を参照)
- 4. 「試験データ転送」ボタンを押すと選択したデータがファイルとしてパソコンのディスク上に落とされま す。



- 「>」ボタン : 「データリスト」リストボックスで選択した(反転しているデータ)のみを「ファイルに落と すデータ」リストボックスに移動させます。
- 「≫」ボタン : 「データリスト」リストボックス上の全てのデータを「ファイルに落とすデータ」リストボックスに移動させます。
- 「く」ボタン : 「ファイルに落とすデータ」リストボックスで選択した(反転しているデータ)のみを「デ ータリスト」リストボックスに戻します。
- 「≪」ボタン : 「ファイルに落とすデータ」リストボックス上の全てのデータを「データリストボックスに 戻します。

・データファイル名は試験年月日および試験開始時刻を表したものとなります。

(例)97年07月01日12時31分.gtd

- ・データファイルの格納場所を設定することができます。詳しくは 11-4 「一時ファイルのフォルダ指定」をお読み下さい。
- 注)データを転送しただけではGグラフには何も表示されません。ファイルの読み込み動作を行って下 さい。詳しくは 8−1「データファイルの読み込み」をお読み下さい。

7-3 通信時のエラー

通信時のエラーには次の様なものがあります。

・「ポートオーブンエラー」

設定されているComポートが他のアプリケーションによって占有されています。この場合は、他に Comポートを使用しているアプリケーションがないかを確認して下さい。また、以前Comポートを 使用していたアプリケーションが異常終了もしくはバグによってComポートを占有し続ける場合も ありますので、一旦、パソコンを再起動してみるとエラーがなくなる場合もあります。

「送信時エラー」

パソコンからのコマンドによる応答がジオカルテから帰ってこない場合のエラーです。ジオカルテが 通信コマンド待ち状態になっているかを確認して下さい。

・「接続エラー」

機器が正しく接続されていないときに生じるエラーです。ケーブルが設定されたComポートに正しく 接続されているか。ジオカルテの電源が入っていて、通信コマンド待ち状態になっているか等をチェ ックして下さい。

また、通信ケーブルがまちがっている場合にもこのエラーが発生しますので、ご注意下さい。

・「受信時エラー」

- ・「送受信エラー」
- ・「その他のエラー」

その他の通信に関するエラーです。このエラーが出た場合は、一旦ジオカルテとパソコンを再起動してもう一度やり直して下さい。

- 8. データの表示
- 8-1 データファイルの読み込み GeoKarteからのデータ転送によって作成されたファイルの読み込みは次の手順で行って下さい。
 - 1. 「開く」ボタンを押して下さい
 - 2. 「GeoKarteから転送されたファイルを開く」ダイアログボックスにおいて、読み込むデータを指定して下さい。



この操作では一時ファイルのフォルダ指定で設定されたフォルダが開きます。
 (11-4「一時ファイルのフォルダ指定」参照)

その他のファイルの読み込みは次の手順で行って下さい。

- 1.「ファイル」ー「開く」を選択して下さい。
- 2.「ファイルを開く」ダイアログボックスにおいて読み込むデータを指定して下さい。

且 Gグラフ					_ 🗆 ×
ファイル(E) デーダ通信	❻ データ入ナ	10 5779		おうえの	ヘルフ ^{*(} <u>H</u>)
新規作成(N)		4	<u>_</u>	10	
名前を打けて開催	EJ Chilto	同	通信		
一時771ルを開く	ourio	測点番	;号	最終貫入深	5
티테(오)		Nsw	観察	土質	換算N値
終了(E)					
G	ジラフで保存し	たファイル	を開きます		

ファイルを開く				?	×
ファイルの場所(ロ:	🔁 Data	•	E	* 🔛 🗰	
398年05月07日1 98年05月11日1 98年05月11日1 98年05月13日1 第98年05月13日1 第Sample.ggd	5:30,ggd 1:10,ggd 5:13,ggd 5:25,ggd				r
ファイル名(<u>\)</u> : ファイルの種類(<u>T</u>):	98年05月07日15:30.ggd Gがラファイル(*.ggd) 「読み取り専用ファイルとして開く(<u>P</u>)		T	開 (① キャンセル	

・ファイルの種類として次のファイルが選択できます。

Gグラフファイル : 拡張子が '. ggd' のファイル GeoTermサンプル版ファイル : 拡張子が '. gsd' のファイル Gグラフ手入力ファイル : 拡張子が '. gmd' のファイル

(注1)GeoTermサンプル版のファイルを開く場合にはあらかじめ拡張子を'.gsd'に変更する必要があります。

(注2)25cm丸めデータはGグラフでは読み込むことはできません。

・エクスプローラから直接ドラッグアンドドロップしてファイルを開くこともできます。

・データを読み込むと同時に換算N値の計算を行います。換算式については 13-1 「換算N値につ いて」を参照して下さい。

8-2 グラフの表示

「グラフ」ボタンを押して下さい。グラフが表示されます。





1.00 100 1.19 100 1.21 100 1.24 100 1.25 100 2.05 100 2.15 100 2.15 100 2.16 100 2.16 100 2.16 100 ,**1**

41

粘土土土土土土土土土土

¥6.±

200

霸

1192 on R

0 874

200 9 (479 49) 240 私土 550 打葉 00 回 私土 250 打葉 00 回 私土 250 打葉 07 回 私土

・グラフは土質の種類により色(印刷時はハッチング)が異なります。

土質	グラフの色	印刷時のハッチング
粘土	赤	格子
砂	青	斜線

- ・グラフの画面をダブルクリックか、「グラフ」ボタンを押すとNswと換算N値のグラフが切り替わります。
- ・グラフの大きさは自由に変えることができますが、縦横の比によってはラベルなどが正確に表示されない場合があります。
- 8-3 土質データの変更

1. 表で変更したい土質データのセルを選択して右クリックして下さい。
2. '砂'、'粘土'、'元に戻す'から選択して下さい。
・変更したデータは最後に ' * ' がつきます。 (例)' 砂*'
・通常、次の仕様で土質データが選択されます。
観察項目が砂・ジャリジャリ → 砂
その他 → 粘土

注) まるめたデータの表示状態では土質データの変更は できません

<補足>

通常、観察項目が"ガリガリ"のときは、粘性土が選択されますが、下記の処理を行うことにより、砂質土を選択す るように変更できます。

・"Gグラフ"という名称のフォルダ内(Gグラフのインストール先のフォルダ)にある"ObsTbl.tbl"というファイルを メモ帳等で開きます。

- ・次の行を探します。
 [P03]
 - obs=ガリガリ
 - Doshitu=砂質土 ← この行を Doshitu=粘性土に変更します。
- ・ファイルを上書き保存します。

8-4 データを25cm毎に丸める

「まるめ」ボタンを押して下さい。グラフ及び表が25cm毎に丸められて表示されます。 丸めかたについては 13-2「25cmのまるめかたについて」を参照して下さい。



秋コー	F 712-496-4	196-0496	測点書	号 01	最終貫入這	루쿱 221 m
D (m)	Menuficed)	ALC: No.	Anna 90	24 5月13日 9852	151825551	-15時415分 絶望い(後
0.95	100	60	240	17村 05 回	<u>1 A</u>	2×130-150
0.23	100	60	240	11.42.03 [8]	92+	150
0.35	100	4	240		22+	99
1.00	100	3	12		10上	36
1.25	100				10.1	34
1.50	100	7	28		84+	44
1.75	100	50	200		Rit.	130
2.00	100	70	280	ર્ગ ભાગભા	砂	20.8
2.21	100	96	457	打禁 07 回	粘土	25.9

- 注)まるめたデータの表示状態では土質データの変更はできません。
- 8-5 クリップボードへのコピー

表上で複数セルの選択をして右クリックするとセルの 内容がクリックボードへコピーされます。 そのまま表計算ソフトなどにはりこんで下さい。

注) クリップボードのデータをGグラフに張り 込むことはできません。

 ₩K	保谷	۽ ۽		蠹	557	まるめ
(秋二一	F 712-496-	196-0496 副相義務	測点番1 90 90	号01 年 5月 13日	最終貫入词 15時25分~	は 221 m 15時41分
D (m)	Waw (kgf)	Na	Ngw	観察	土質	換算N值
0.02	050	自沈	0	オ ンイ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	君 24	¥占土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	78.0
0.16	100	0	250	打葉 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		私土	15.0
0.75	100	4	36-		稻土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	5	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	わイ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	オソイ ロット・回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4,4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	749749	鈔	20.8
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打葉 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		稻土	753.0
2.16	100	0	250	打葉 07 回	稻土	15.5
0.00	100	18	376		414	01.0

9.印刷

9-1 データの印刷

- 1. 「印刷」ボタンを押して下さい。
- 2.「印刷」ダイアログボックスにおいて印刷形式を指定して下さい。
 チェックボックスをクリックすると、チェックマークが表示されますので、印刷したい形式のチェックボックスを選択してから「印刷」ボタンをクリックして下さい。

ND.	デー対動性の	デーシス・クリ	0 570) 7 ~9(<u>0</u>)	わらいの	NJ7℃
歐歐	品	r e			557	まるめ
映コー	F 712-496-4	196-0496 日式現代部	自1日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二	号01 年5月13日	最終費入深 15時25分~	き 2.21 m 15時41分
D (m)	Waw(kgf)	Na	New	観察	土質	換算N値
0.02	050	自沈	0	<i>\$</i> 74	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	<i>\$</i> 74	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	78.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		私土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	オ ンイ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	オソイ ロット回	彩土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		私土	13.0
2.00	100	70	280	5050	砂	20.8
2.15	100	36	240		彩土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打葉00回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打荤 07 回	*6土	15.5
0.00	100	16	976		47.4	01.0

現在設定されているブレ 通常のデータ 「 「 Nsw ⁵ ⁵⁷ 「 快算N ⁵⁷ 57	ンタ : XEROX Printer 25cmまるめデータ 「 表 「 Nswグラフ 「 表・Nswグラフ 「 換算ルグラフ 「 表・Nswグラフ	設定(T) ED刷 キャンセル
🗖 カラー印刷		

・印刷形式は次の通りです。

通常のデータ

GeoKarteから直接読み出した形式で25cmまるめを行わないデータ形式です。

25cmまるめデータ

通常のデータを25cm毎に丸めたものです。 まるめかたについては 13-2「25cmのまるめかたについて」を参照して下さい。

表:データを表形式で印刷します。Nswグラフ:データをNswグラフ形式で印刷します。換算Nグラフ:データを換算N値グラフ形式で印刷します。表・Nswグラフ:1枚の用紙に表とNswグラフを印刷します。(25cmまるめデータのみ)表・換算Nグラフ:1枚の用紙に表と換算Nグラフを印刷します。(25cmまるめデータのみ)

カラー: カラー印刷を行います

9-2 プリンタの設定

「印刷」ダイアログボックスにおいて「設定」をおすとプリンタの選択および設定を行うことができます。

印刷		×
現在設定されているブリ 通常のデータ 「表 「Asw ⁰ ⁵ 77 「換算N ^{0⁵77}	25.0 ま RIOOH NX-500 RPDL 25.0 まるめデータ □ 表 □ Nswりうフ □ 表・Nswりうフ □ 検知いううフ □ 表・I(知知りうフ	

フランタの設定				? ×
7 ንንንጵ				
名前(<u>N</u>):	RICOH NX-500 RPDL		· .	ን በ/ነ [°] ティ(<u>₽</u>)
状態: 通	常使うフリンタ: オンライン			
種類: RK	OH NX-500 RPDL			
場所: ¥¥	(sekkei07¥ricoh			
1.40k:				
用紙			印刷の店	18
サイス*(<u>Z</u>):	A4 (210 × 297 mm)	v		 ₩
給紙方法(<u>S</u>):	自動用紙送り	•	Α	○ 横(△)
			ОК	キャンセル

- 10. データの保存
 - 1. 「保存」ボタンを押して下さい。
 - 2. 「ファイル名をつけて保存」ダイアログボックスにおいてファイルの種類・ファイルの名前を設定して保存 して下さい。



ファイル名を付けて保存				? ×
保存する場所(!):	🔁 Data	•	E 💣	•••• ••••
198年05月07日15	:30.ggd			
■ 98年05月11日11 ■ 98年05月13日15	:10.ggd :13.ggd			
舅 98年05月13日15	:25.ggd			
😹 Sample.ggd				
ファイル名(N):	98年05月13日15:25			保存(S)
ファイルの種類(T):	Gゲラフ ファイル (*.ggd)		-	*+*'/tzll
	,			149 670

注 1) 選択できるファイルの種類はデータによって異なります。	
・ノアイルから開いたナータ(通信ナータ含む)	
Gクラノノアイル : 払張士か ggd のノアイル	
25cmまるのノアイル : 払張子か、g25のノアイル	
・新規作成ファイル なとびみね な保存した 手入 カファイル	
「初风作成ファイルのよいてれど休任しに十八刀ファイル	
Cグラフチ λ カファイル・・・ 坊碑 子が ' amd'のファイル	
Gy Jy F スカンディル : 拡張 F が : gind の J ディル	
25cmキスめファイル・・・ 坑進ヱが' g25'のファイル	
- 注2) ファイル名の拡張子を省略した場合にはファイルの種類で選択している拡張子	-
が自動的につけられます。	

11. 設 定

- 11-1 グラフ表示の設定
 - 1. メニューの[オプション(O)]-[設定]を選択して下さい。
 - 2.「画面表示」のタグを選んで下さい。



Gグラフ 各種設定		×
 画面表示 データ加工 その他 費入深さ切り替えポイント Nswグラフン軸最大値 トルクグラフン軸最大値 トルクグラフン軸最大値 Wswグラフ 0側塗り消し Na、Nsw小型点表示 	10 × m 250 × 25 × 100 ×	
F トルクグラフ表示 OK キャンセル		

各設定内容の意味は次の通りです。

・貫入深さ切り替えポイント

グラフの切り替えポイントを設定します。GグラフではグラフのY軸の値を貫入深さにより自動的に切り替えます。この切り替えの判断に使用する貫入深さを設定します。

・NswグラフX軸最大値

Nswグラフ表示時のX軸の最大値を設定します。

・換算NグラフX軸最大値
 換算Nグラフ表示時のX軸の最大値を設定します。

・トルクグラフ X 軸最大値

トルクグラフ表示時のX軸の最大値を設定します。

·Wsw グラフ0 側塗りつぶし

Wsw グラフを 0N 側から塗りつぶすか 1kN 側から塗りつぶすか切り替えます。

·Na、Nsw小数点表示

Na、NSW 値の小数点以下1桁までの表示、非表示を切り替えます。

・トルクグラフ表示

トルクグラフの表示、非表示を切り替えます。 トルクグラフは25cm 丸めデータ表示時には非表示となります。

- 11-2 データ加工の設定
 - 1. メニューの[オプション(O)]-[設定]を選択して下さい。
 - 2.「データ加工」のタグを選んで下さい。



Gグラフ 各種設定	×
画面表示 データ加工 その他	
打辇時対応Nsw	250 🛓
🗖 まるめ処理時空転削除	
空転削除判定	
最大貫入量 1 🗧 om	最小N値 20 🗧
QK ++>th	

各設定内容の意味は次の通りです。

·打撃時対応Nsw

観察項目が「打撃」の場合を一定値のNswに対応させます。これにより、打撃貫入があった部 分がグラフをみて地盤が緩いと誤判断することを防ぎます。

・まるめ処理時空転削除

25cmまるめ処理時において空転データを削除してからまるめるかどうかを選択します。 なお、この処理では「最大貫入量」以下の貫入量で「最小N値」以上のデータを空転データと見 なして処理を行います。

- 11-3 通信ポートの設定
 - 1. メニューの[オプション(O)]・[設定]を選択して下さい。
 - 2.「その他」のタグを選んで下さい。
 - 3. 使用する通信ポートをコンボボックスから選んで下さい。



Gグラフ 各種設定	×
画面表示 データ加工 その他	
通信ホ [〜] ト 一時ファイル(呆存位置 1ページ印刷行数	Comm1 ▼ Comm1 ▲ Comm3 Comm3 Comm4 Comm6 Comm6 Comm7 ▼
OK ++>セル	

11-4 一時ファイルのフォルダ指定

GeoKarteとの通信において、作成されたデータファイルを書き込むフォルダの設定です。

- 1. メニューの[オプション(O)]-[設定]を選択して下さい。
- 2.「その他」のタグを選んで下さい。
- 3.「一時ファイルの保存位置」を設定して下さい。





注) ー時ファイルをFDに設定する場合には常にFDをドライブに入れた状態で使用して下さい。 また、一時ファイルをFDにした場合は通信の処理速度が遅くなります。

11-5 1ページ印刷行数の設定

WE)	7 - xens(1)	7-97.75	y 9770 <u>0</u>	, <u>1 - 40</u>	47.26,000	- WE ALL
歐	保護	म म	iiii		759	まるめ
(秋二一	F 712-496-	496-0496 武務時	測点書4 1111 90	号01 年 5月13日	最終貫入派 15時25分~	結 221 m 15時01分
D (m)	Waw (kgt)	Na	Nove	MARKE	土質	換資N值
0.02	050	自沈	0	<i>1</i> 777	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	<i>\$</i> 74	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		¥8土	78.0
0.16	100	0	250	打荤 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	35
1.21	100	自沈	0	オンイ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	オソイ ロット 回	¥占土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		¥占土	13.0
2.00	100	70	280	SW/W	砂	20.8
2.15	100	36	240		¥占土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打整00回	¥占土	15.5
2.16	100	15	15000		彩土	753.0
2.16	100	0	250	打整07回	¥占土	15.5
0.00	100	16	276		WF-1-	010

Gグラフ 各種設定 「画面まテ」データtort 子の他	1
通信本~~	Comm1 💌
一時ファイル保存位置	E¥Program Files¥Nitto¥Gグ <u>…</u>
1ページ印刷行数	40
OK ++>tell	

- 1. メニューの[オプション(O)]-[設定]を選択して下さい。
- 2.「その他」のタグを選んで下さい。

3.「1ページ印刷行数の設定」を設定して下さい。

12. 簡易データ入力

- 12-1 データの新規作成
 - 1. メニューの「ファイル(F)」-「新規作成(O)」を選択して下さい。
 - 入力行数設定」ダイアログボックスにおいて初期行数を設定して下さい。空白のセルが設定行数 分表示されます。





3. 「試験情報入力」ダイアログボックスにおいて試験情報を設定して下さい。空白のセルが設定行数 分表示されます。

	×
験番号	1
観田石	
皆号	3
4	4 🔹
	1 +
(年) [98
яГ	9 🔟
Н	
時	10 🛨
分	15 +
時	10 📩
分	27
Ś	Cancel
3	

参考) 試験情報の変更

1. 表の上にある試験情報の表示部分をダブルクリックすると、再び「試験情報入力」ダイアログボックスが表示されますので、データ入力後でも試験情報を変更することができます。

12-2 基本的な操作

●「入力モード」と「編集モード」の状態があります。状態の切り替えはメニューの「データ入力」-「入 カモード」、「編集モード」を選択して下さい。

・入力モード

データを入力します。

・データ編集

通常のデータと同じように「グラフ表示」「印刷」等を行います。

注)「入力モード」から「編集モード」への切り替えは、全部の行の「貫入深さ」、
 「荷重」のデータが埋まっていないとできません。
 もし、空いている行があれば、「行削除」で削除して下さい。

●入力モードにおいては「逐一入力」と「一括入力」の2種類の入力モードがあります。入力モードの切り替えは右クリックによって表示されるメニューを選択して下さい。

・逐一入力モード

一つの項目ずつ入力します。

・一括入カモード
 一度に右クリックのメニューに従って入力します。

●データの入力時に行単位でセルを選択してマウスを右クリックすると次のメニューが表示されます。

・行追加

選択した行の数だけ、選択した行の上に行を追加します。

- ・行削除
- 選択した行を削除します

·消去

- 選択した行の内容を消去します。行はそのまま残ります。
- ・コピー

選択した行の内容を一時記憶します。

(クリップボードに取り込まれます。)

- ・貼り付け
 - 一時記憶した行の内容を指定した行に上書きします。

(他のアプリケーションからクリップボードに取り込まれたデータは上書きできません)

12-3 各データの入力方法

データ種類	逐一入力モード	一括入力モード
貫入深さ D(m)	貫入深さを数字で入力します。 必ず、前のセルより大きな値を 入力して下さい。	 1.貫入深さの列のみを複数選択してマウスを右 クリックして下さい。 2.項目として「埋め込み」と「逐一入力」が表示されますので「埋め込み」を選択します。 3.開始値(cm)から始まって増分値(cm)ずつ増加させた値をセルに埋め込んでいきます。 4.選択したセルに貫入深さが埋め込まれます。
荷重 Wsw(kgf)	荷重を数字で入力します。	 1.荷重の列のみを複数選択してマウスを右クリックして下さい。 2.項目として各荷重値(100~005)と「逐一入力」が表示されますので荷重値を選択します。 3.選択したセルに荷重値が埋め込まれます。
半回転数 Na	半回転数を数字で入力します。	 半回転数の列のみを複数選択してマウスを右 クリックして下さい。 項目として「自沈」と「逐一入力」が表示されま すので自沈を選択します。 選択したセルに「自沈」が埋め込まれます。 注)編集モードに切り替えた時点で荷重が100k gf未満、および荷重100kgfで半回転数のセ ルが空白のものにはすべて「自沈」が埋め込 まれます。
観察項目	観察項目を入力します。リター ンキーを押した後で、↑↓キー で観察項目を選択して下さい。 <u>注)登録されていない観察項目</u> <u>を入力した場合は正しくファ</u> <u>イルに保存することができま</u> <u>せん。</u>	 観察項目の列のみを複数選択してマウスを右 クリックして下さい。 観察項目の一覧および「逐一入力」が表示されますので、観察項目の一覧から観察項目を 選択します。 選択したセルに観察項目が埋め込まれます。 注)打撃回数の入力について 打撃回数の入力について 打撃回数の入力は「打撃00回」を観察項目で選 択した後に逐一入力モードにて00の部分を打 撃回数に書き換えて下さい。
土質	土質を入力します。リターンキー を押した後で、↑↓キーで土質 項目を選択して下さい。 <u>注)登録されていない土質項目</u> <u>を入力した場合は正しくファ</u> <u>イルに保存することができま</u> <u>せん。</u>	 1. 土質の列のみを複数選択してマウスを右クリックして下さい。 2. 土質項目の一覧および「逐一入力」が表示されますので、土質項目の一覧から土質項目を選択します。 3. 選択したセルに土質項目が埋め込まれます。

- 13. その他
- 13-1 換算N値について N値への換算式として以下の式を使用しています。
 - 0. 03×Wsw(kgf)+0. 05×Nsw (粘土層) 0. 02×Wsw(kgf)+0. 067×Nsw (砂質層)

注) 土質が入力されなかった場合は粘土層として換算されます。

- 13-2 25cmのまるめかたについて
 25cm毎のまるめの仕様は以下の通りです。
 - 21. 空転の削除
 ・設定により空転部分を削除する
 ・空転か否かの判断基準は 11-2「データ加工の設定」を参照
 - 2. 打撃項目の削除
 - ・25cm貫入する際に打撃が行われていた場合にはその打撃データを削除する
 - ・打撃があった場合はその25cmでの観察項目を打撃とし、25cm間での総打撃回数を記録する
 - ・25cmの区切りをまたがって打撃を行った場合は、貫入深さの浅い方にすべての打撃回数を振り分ける。
 - ・打撃の削除はあくまでデータがないものとして処理する。
 - 3. 自沈と回転貫入の選択

25cm内で自沈および回転貫入が混在していた場合は回転貫入の貫入量の合計と自沈の貫入量の合計を比較して、貫入量の多い方をその25cmの状態として選択する。ただし、それぞれの貫入量の合計が等しい場合、その層は自沈とする。

4. 自沈層における荷重の選択について

自沈層であると判断した場合、その自沈の荷重毎の貫入量の合計を比較してもっとも貫入量の 合計の多い荷重をその層の荷重として選択する。ただし、もっとも貫入量の合計の多い荷重が2 種類以上存在した場合には、少ない荷重のデータを選択する。

- 5. 回転貫入層における回転数について 回転貫入層であると判断した場合、回転数は合計とする。
- 6. 観察項目の選択について

3. もしくは4. で選択されたデータにおける観察項目のなかで対応する貫入量の合計がもっとも 多いものをその25cm間の観察項目とする。ただし、もっとも貫入量の合計が多い観察項目が2 種類以上存在した場合には、先に(より貫入深さの浅い段階で)現れた観察項目を優先する。

7. 土質の選択について

6. で選択されたデータの中で異なる土質が存在した場合には対応する貫入量の合計がもっとも 多いものをその25cm間の土質とする。ただし、もっとも貫入量の合計が多い土質が2種類以上 存在した場合には、その25cm間の土質は粘土とする。

- 14. Q & A
- 14-1 通常の操作におけるトラブル
 - 1. 通信できない

GeoKarteとの通信が正しくできない場合は次の内容をチェックして下さい。

1)GeoKarteの操作

GeoKarteはデータ転送モードのコマンド待ち状態になっていますか

- 2)通信ケーブルの確認 通信ケーブルは正しいものを使用していますか。 お客様がご使用のパソコン種類によって使用するケーブルが異なります。詳しくはGeoKarteの 取り扱い説明書(付録1.シリアル通信について)をお読み下さい。
- 3)通信ポートの確認 通信ポートは正しく設定されていますか。ケーブルを接続した通信ポートを正しく設定して下さい。 詳しくは 11-3 「通信ポートの設定」をお読み下さい。
- 2. データが表示されない

データが表示されない場合は次の内容をチェックして下さい。

1)ファイルの読み込みのチェック

GグラフはGeoKarteの通信ではデータのファイルを生成するだけでデータの読み込みは行い ません。8-1「データファイルの読み込み」を参考にして表示したいファイルを選択して下さい。

2)ファイルが読み込めない

正しい拡張子のついていないファイルは読み込めません。特にGeoTermサンプル版をご使用の場合は拡張子を'.gsd'に変更する必要があります。また、25cmまるめ形式で保存したファイルはGグラフで読み込むことはできません。詳しくは 8-1 「データファイルの読み込み」をお読み下さい。

3. 印刷できない

印刷が正しくできない場合は次の内容をチェックして下さい。

プリンタの設定

プリンタの設定は正しく行われていますか。 印刷の向きが横の場合は正しく印刷が行われません。 プリンタの設定は 9-2「プリンタの設定」を参照して下さい。

- 14-2 簡易入力でのトラブル
 - 1. データが右クリックで入力できない 次の内容をチェックして下さい。
 - 1) 一括入力モードの設定

ー括入力モードに設定されていますか。詳しくは 12-2 「基本的な操作」を参照して下さい。 2)列の選択

複数の列を選択した状態では一括入力はできません。必ず、入力したい項目の列のみを選択 して下さい。

- 行の追加・削除ができない
 行の追加削除を行うには必ずセルを行単位で指定する必要があります。これは張り付けの場合も
 同様で、貼り付け先の選択エリアはコピーした際の選択エリアと等しい大きさでなくてはなりません。
- 編集モードに移れない 編集モードに移るには最低、貫入深さと荷重のデータがすべて埋まっている必要があります。確認 して下さい。